

証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2023年3月期 通期 決算説明会

2023年4月28日

将来の見通しに関する記述



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2023年3月期 通期連結業績概要

連結業績概況



- 宇宙事業が増収を牽引。
- 利益は宇宙事業、メディア事業とも計画を上回る。

(百万円)

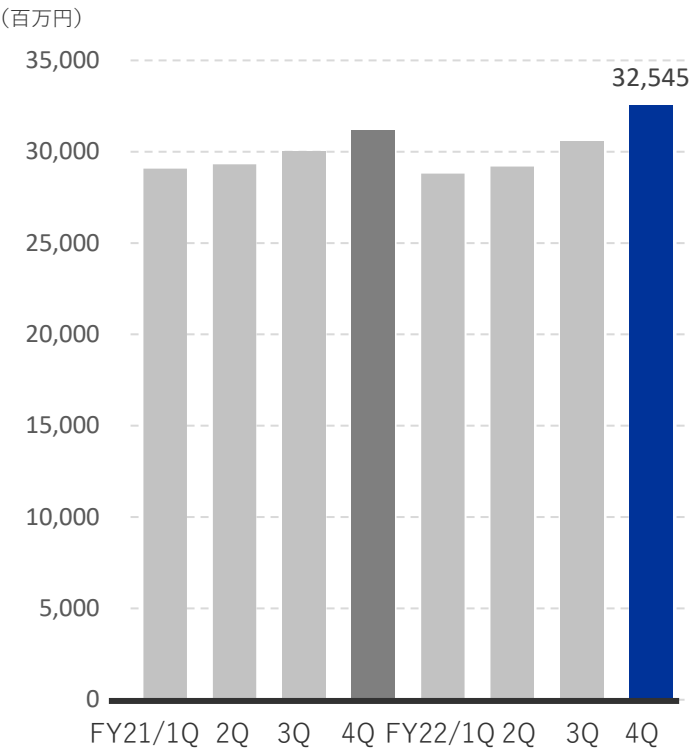
	2021年度	2022年度	増減率	2022年度 通期業績予想	通期予想 達成率
営業収益	119,632	121,139	+1.3%	120,000	100.9%
営業利益	18,862	22,324	+18.3%	21,000	106.3%
経常利益	20,307	23,194	+14.2%	21,500	107.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,579	15,810	+8.4%	15,000	105.4%
EBITDA *	44,179	45,562	+3.1%	44,400	102.6%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息。

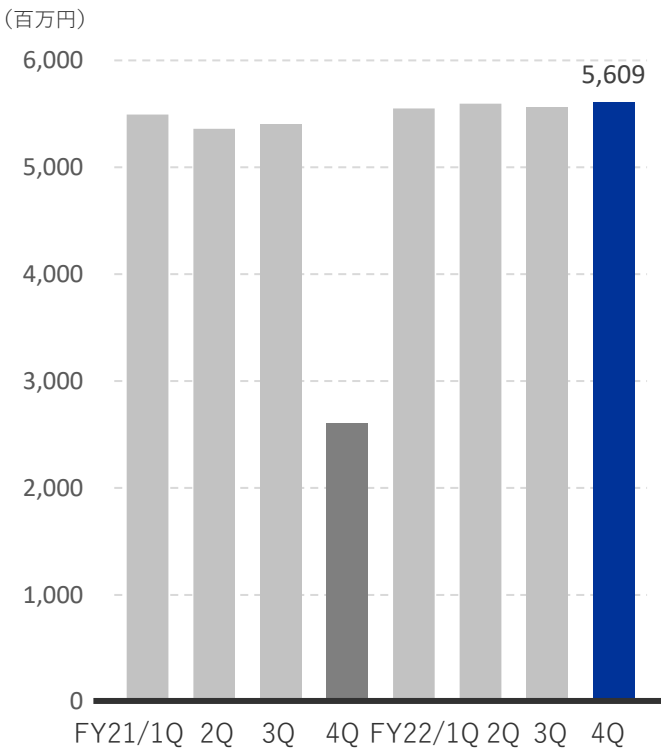
四半期連結業績推移（FY2021/1Q – FY2022/4Q）



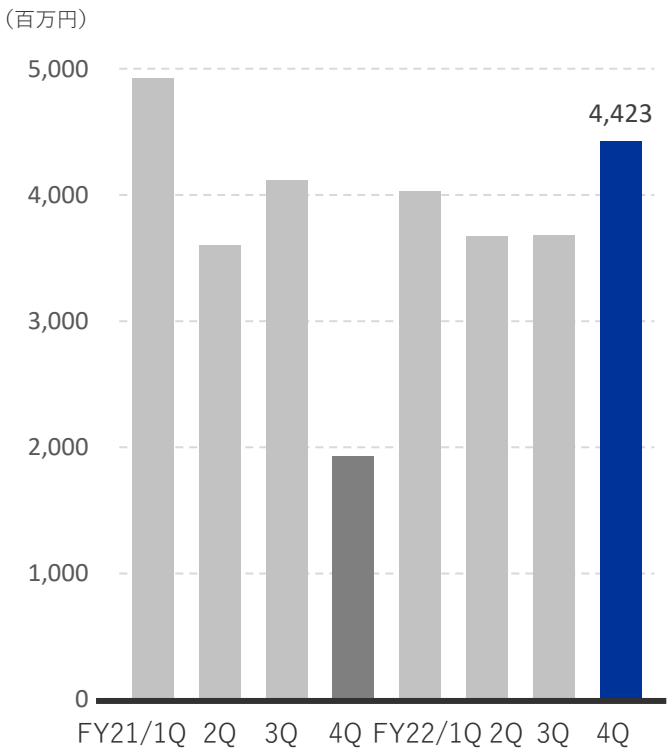
営業収益



営業利益



四半期純利益



セグメント別業績概況：宇宙事業



- JCSAT-1C、Horizons 3eの利用拡大により増収
- 増収に加え、減価償却費・のれん償却額の減少により増益

営業収益

(百万円)

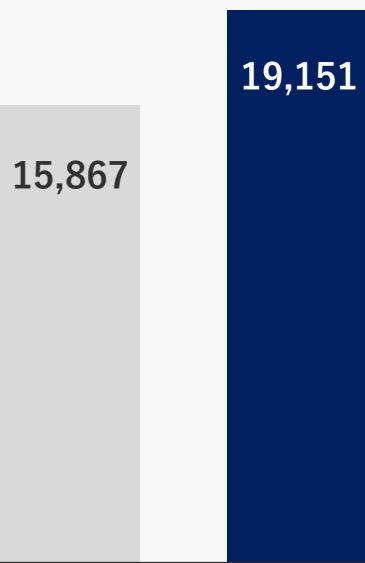


2021年度

2022年度

営業利益

(百万円)

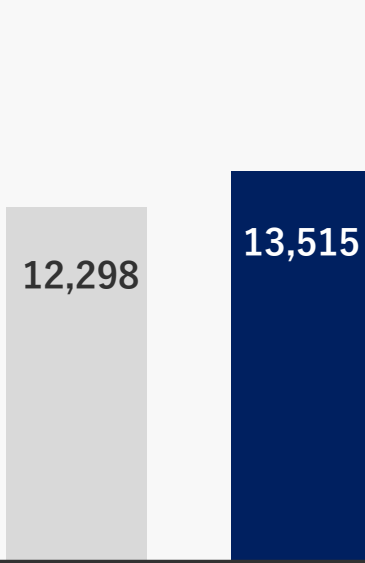


2021年度

2022年度

セグメント利益*

(百万円)



2021年度

2022年度

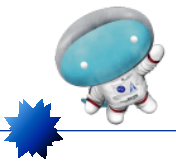
主な増減要因（前年同期比）

- **営業収益 6 2 2 億円（+ 2 7 億円）****
 - ・ グローバル・モバイル分野：+ 3 7 億円
 - ・ 放送トラポン収入の減少：△ 6 億円
 - ・ その他：△ 4 億円
- **営業費用 4 3 0 億円（△ 6 億円）****
 - ・ 減価償却費の減少：△ 6 億円
 - ・ のれん償却額の減少：△ 8 億円
 - ・ その他：+ 8 億円
- **営業利益 1 9 2 億円（+ 3 3 億円）**
- **セグメント利益 1 3 5 億円（+ 1 2 億円）**
 - ・ 連結子会社の解散に伴う税金費用減少の剥落：△ 9 億円

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

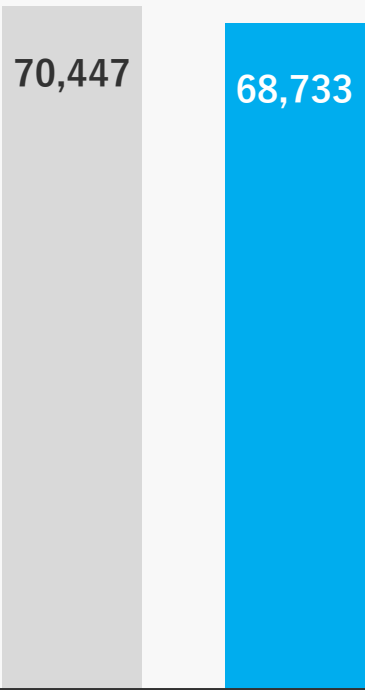
セグメント別業績概況：メディア事業



- 放送の減収に対して、WEB広告へのシフトや番組制作費の見直しによりコストコントロールを実施
- F T T H事業収入の増加や東京メディアセンターでの外部利用収入により、前年度増益

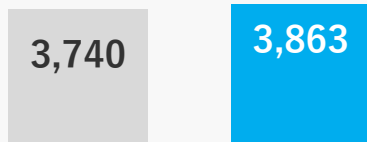
営業収益

(百万円)



営業利益

(百万円)



セグメント利益*

(百万円)



主な増減要因（前年同期比）

- 営業収益 6 8 7 億円 (△ 1 7 億円) **
 - ・ 視聴料・業務手数料・基本料収入の減少：△ 2 7 億円
 - ・ FTTH事業収入の増加：+ 2 億円
 - ・ その他：+ 8 億円
- 営業費用 6 4 9 億円 (△ 1 8 億円) **
 - ・ 広告宣伝・販促費の減少：△ 9 億円
 - ・ 減価償却費の減少：△ 4 億円
 - ・ コンテンツ費用の減少：△ 5 億円
- 営業利益 3 9 億円 (+ 1 億円)
- セグメント利益 2 8 億円 (+ 0.3億円)

* セグメント利益は「純利益」ベースの数値

** セグメント間の内部取引を含む

2023年度 連結業績予想



新領域への先行投資を進めるとともに
基盤事業の収益性／生産性向上を図る

(百万円)

	2022年度通期実績	2023年度通期予想	増減率
営業収益	121,139	121,000	△0.1%
営業利益	22,324	22,500	+0.8%
経常利益	23,194	22,000	△5.2%
親会社株主に 帰属する当期純利益	15,810	15,000	△5.1%
EBITDA *	45,562	43,600	△4.3%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息。

セグメント別業績予想



宇宙事業

- ・ 新領域における増収、減価償却費減少等で営業利益は200億円を超える増益
- ・ 成長投資により関連会社で費用が先行するため、セグメント利益は前年度同水準

メディア事業

- ・ FTTH事業等の増収の一方、放送の加入件数減少により減収
- ・ 新領域へ費用を投下しつつ、コストコントロールも行い、一定の利益を確保

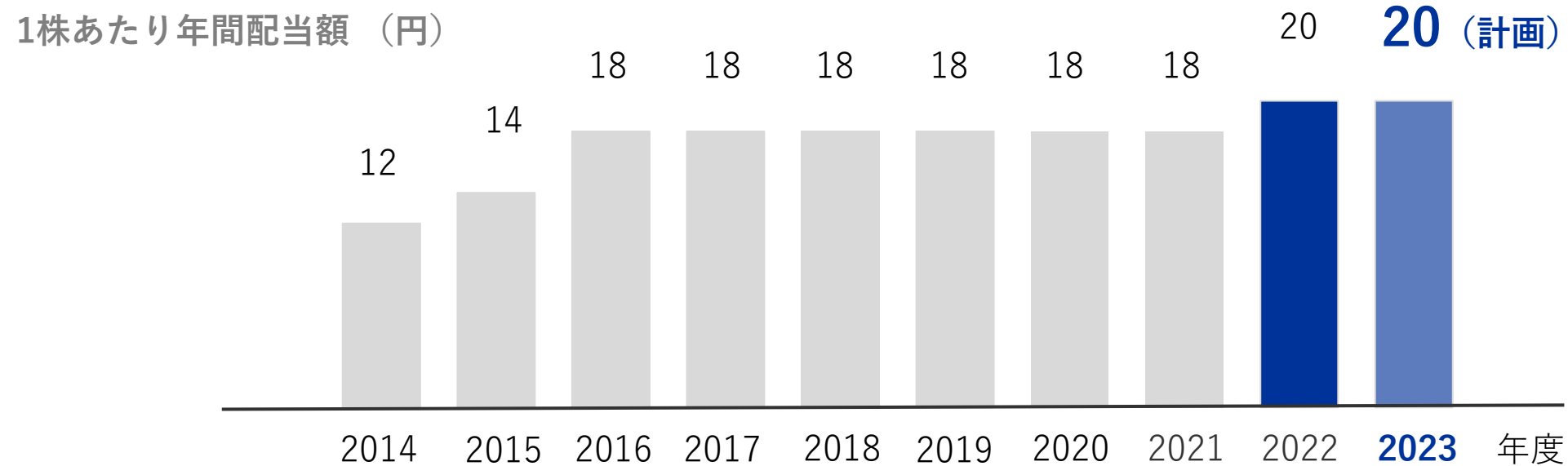
	2023年度セグメント別業績予想				(百万円)
	宇宙事業	メディア事業	消去または 全社	連結合計	
営業収益	64,000 (+1,845)	66,500 (△2,233)	△9,500	121,000 (△139)	
営業利益	20,500 (+1,348)	2,700 (△1,163)	△700	22,500 (+175)	
セグメント利益 * 純利益ベース	13,500 (△15)	2,000 (△779)	△500	15,000 (△810)	

注：()内は対前年度比増減。



株主還元を強化し、2022年度は年間配当額を増額。

2023年度も基礎収益力の向上を図りつつ、1株あたり年間20円の配当を実施予定



配当方針： 1株あたり年間16円以上、配当性向30%以上の条件を満たす配当額

2030年に向けて



新領域に2,000億円以上の投資を予定

SPACE

新技術の活用と
事業領域拡大

1,500億円
以上

既存
衛星通信



Universal NTN

光データ中継

ビジネスインテリジェンス

2030年セグメント利益目標 210億円

MEDIA

映像体験を超える
新領域への進出

500億円
以上

衛星放送
/FTTH



コネクテッドTV

メディアソリューション

コンテンツデータベース

リアルサービス

2030年セグメント利益目標 50億円

サステナブルな成長

2030年に当期純利益250億円超を目指す



社会と会社の持続的な成長を目指す

ミッション

サステナビリティ方針

Space for your Smile

経済的価値

2030年目標 当期純利益 250億円超

社会的価値

社会の安心・安全を守り、
ワクワクする未来の創造に貢献する

事業ビジョン

宇宙事業
すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク
及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し
超スマート社会の実現に貢献

メディア事業
人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献

経営戦略

“変革”による価値の創出

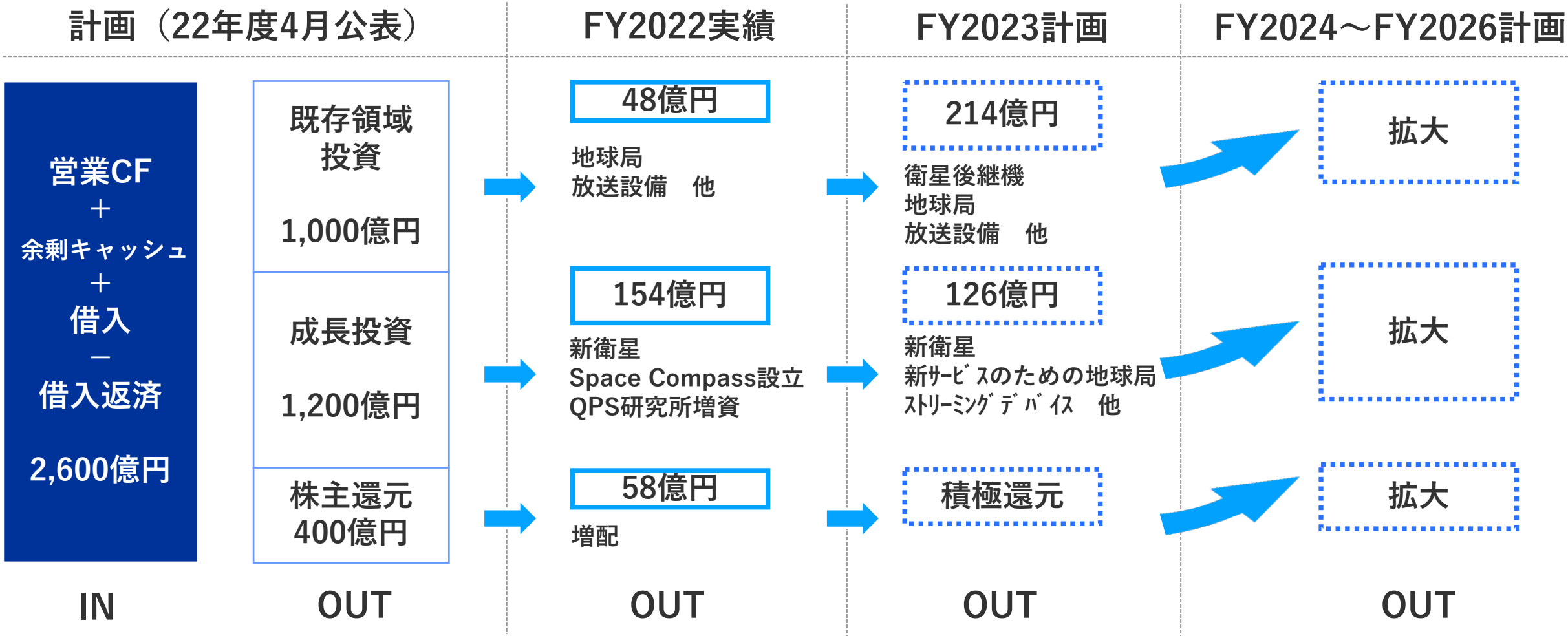
新領域事業の展開

既存事業の
収益性強化

人的資本強化

経営基盤拡充

キャピタルアロケーションの進捗（FY2022～FY2026）



すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献する。



2030年セグメント
利益目標

210億円

安全保障

防災

スマート
シティ

スマート
農業

自動運転

その他
第1-3産業

政府

自治体

建設

農業

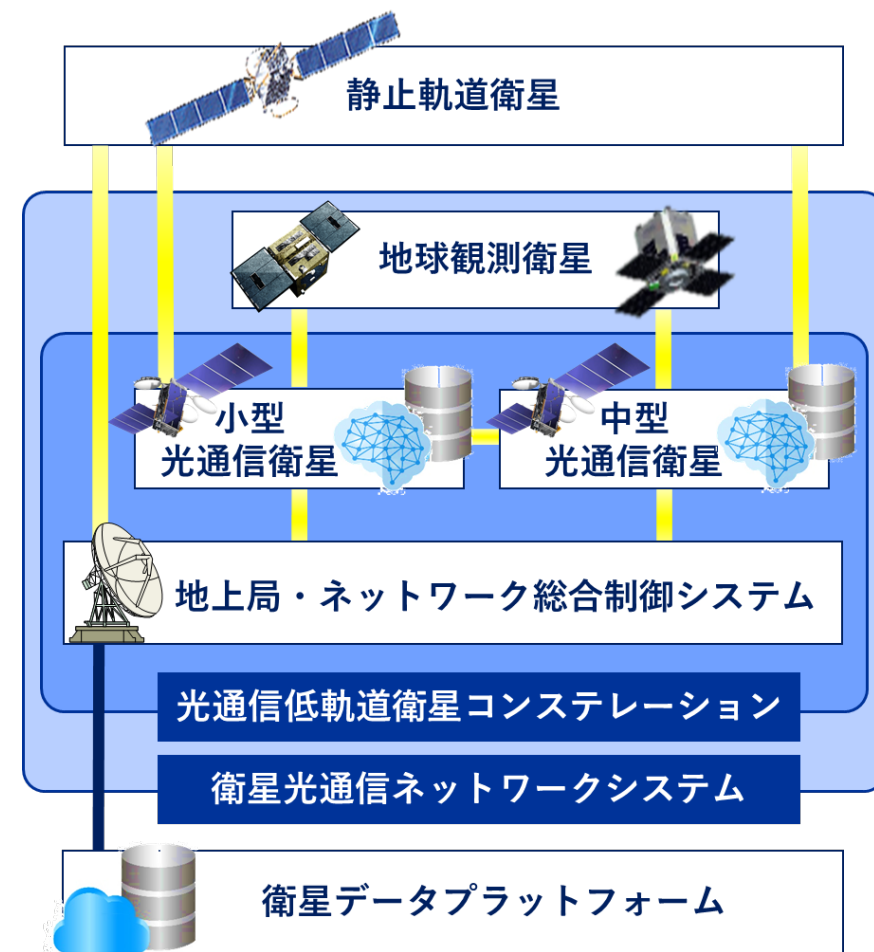
運輸

医療

宇宙統合コンピューティング・ネットワークの実現に向けて

Space CompassとNICT、アクセルスペース、NEC
光通信低軌道衛星コンステレーション開発・実証へ

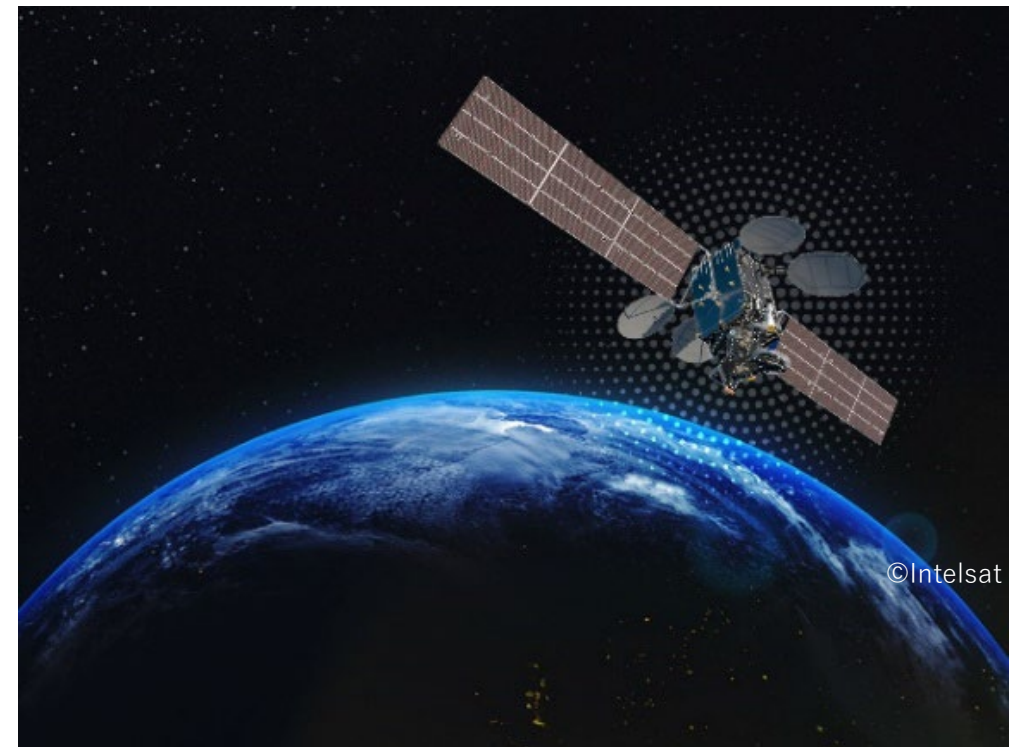
- 世界に先駆けた光通信とコンピューティング技術の実証により
宇宙統合コンピューティング・ネットワークの実現を加速
- 国産の技術開発・実証により、国際競争力の強化に貢献



衛星光通信ネットワークシステム構成図

INTELSATとの共同衛星Horizons-4打ち上げへ

- 2023年夏、Horizons-1後継機として打ち上げ予定
- 北米及び太平洋地域の通信需要増加に対応

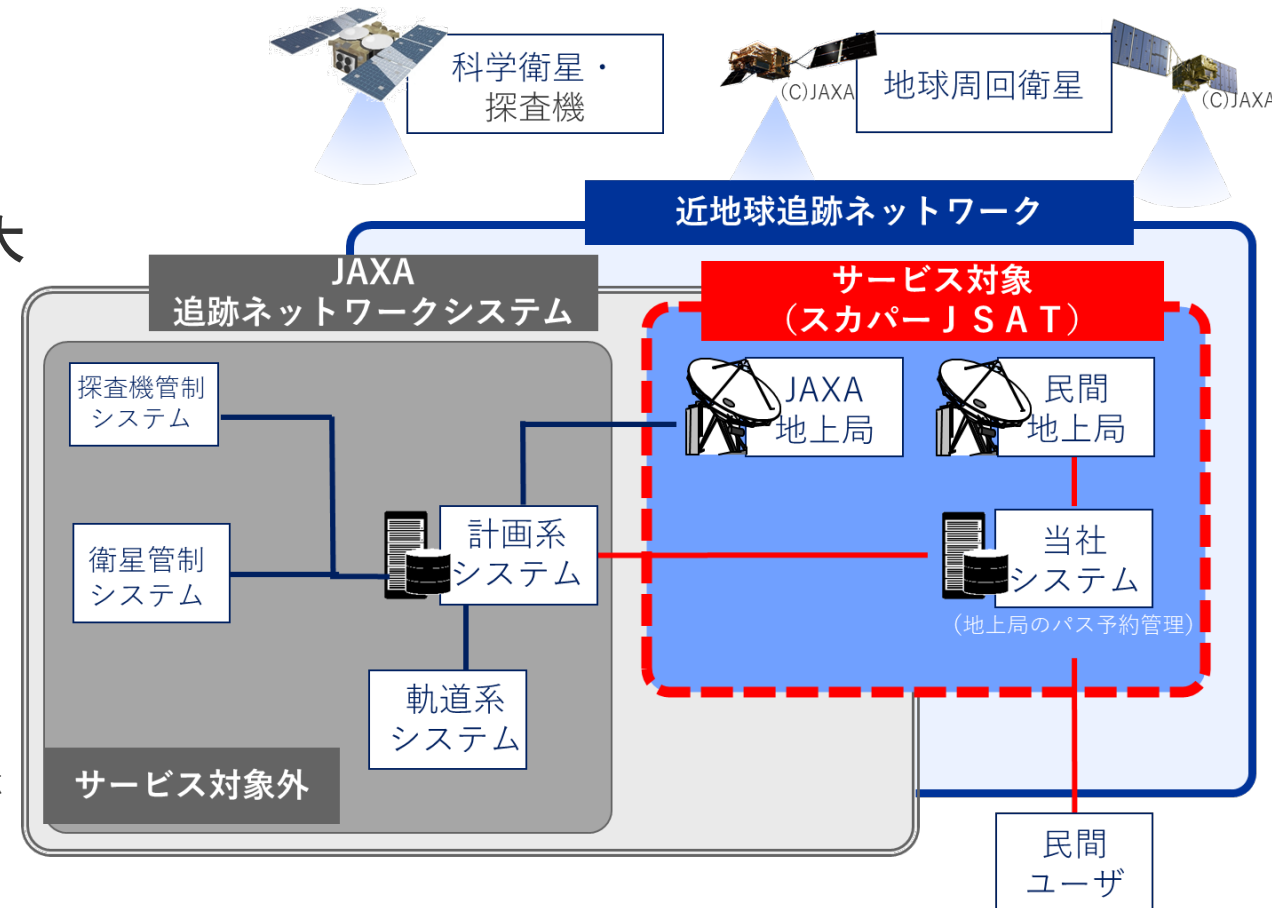


Horizons-4 イメージ図

JAXA向け近地球追跡ネットワークサービスを提供

- 民間衛星向けサービス提供も視野
- 宇宙事業の知見と実績を活かし事業領域を拡大

※近地球追跡ネットワーク
宇宙空間にある人工衛星と地球間で通信を行うため
国内外に設置された地上アンテナ、
及び、このアンテナを使用するための計画を管理するシステムの総称



近地球追跡ネットワークシステム構成概略図

宇宙ビジネスの知見と実績を活かし、積極的な提案活動を展開

- 官との連携・協力体制を強化
- 日米間の共同宇宙利用への参画を目指す
- 宇宙利用の拡大に対応し、事業領域を拡大

当社の貢献分野と取り組み

衛星を用いた宇宙からの情報収集

宇宙の状況把握

当社の
貢献分野

衛星コンステレーション構築

衛星含む宇宙システムの抗たん性強化

衛星データサービス
(光学衛星・SAR衛星・
電波収集衛星)

マルチオービット・
マルチバンドによる
衛星通信サービス

宇宙状況把握サービス

衛星コンステレーション

光データリレー

QKD衛星による
量子暗号鍵伝送サービス

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する

「放送＋配信＋リアル」でファンの体験を拡張

コネクテッドTV

ドングル／広告PF構築

多チャンネル／基幹商品／ライブ・録画

放送

ライブ・VOD
ニッチジャンル

配信

イベント
グッズ／ツアー

リアル

リアル体験

ファンの体験

2030年
セグメント
利益目標

50億円

FTTH再送信

コールセンター

東京メディアセンター

事業基盤

メディア
ソリューション

メディア
HUBクラウド

コンテンツ
データベース

人気スポーツ & アイドルライブを「放送 + 配信」

放送に配信の利便性をプラスし、外出先でも視聴可

プロ野球 セ・パ12球団公式戦
全試合 放送/配信 生中継



ハロプロWEEK & ひなフェス
放送・配信



ドイツ ブンデスリーガ
全試合中継 LIVE配信



JリーグYBCルヴァンカップ
全試合放送/配信



リアルサービスも充実し、ファン体験を拡張

ドイツ ブンデスリーガ ジャパンツアー2023



- ・ 10連覇中の王者 FCバイエルンミュンヘンを招聘
川崎フロンターレとの親善試合を7月開催

山里亮太の宝塚男子になってもいいですか？ 限定イベント



- ・ スカパー！オリジナル番組の限定イベントを主催
- ・ あえて放送/配信を行わず、1日限りのプレミアム感を醸成
- ・ 購入特典付きの会場限定グッズ販売実施

2023年3月30日より、沖縄県におけるFTTH再送信サービス提供を開始

- 提供可能世帯数：約4,280万世帯（37都道府県）
- 世帯カバー率：約76%＊（対47都道府県総世帯数）

＊ 国勢調査世帯数より算出

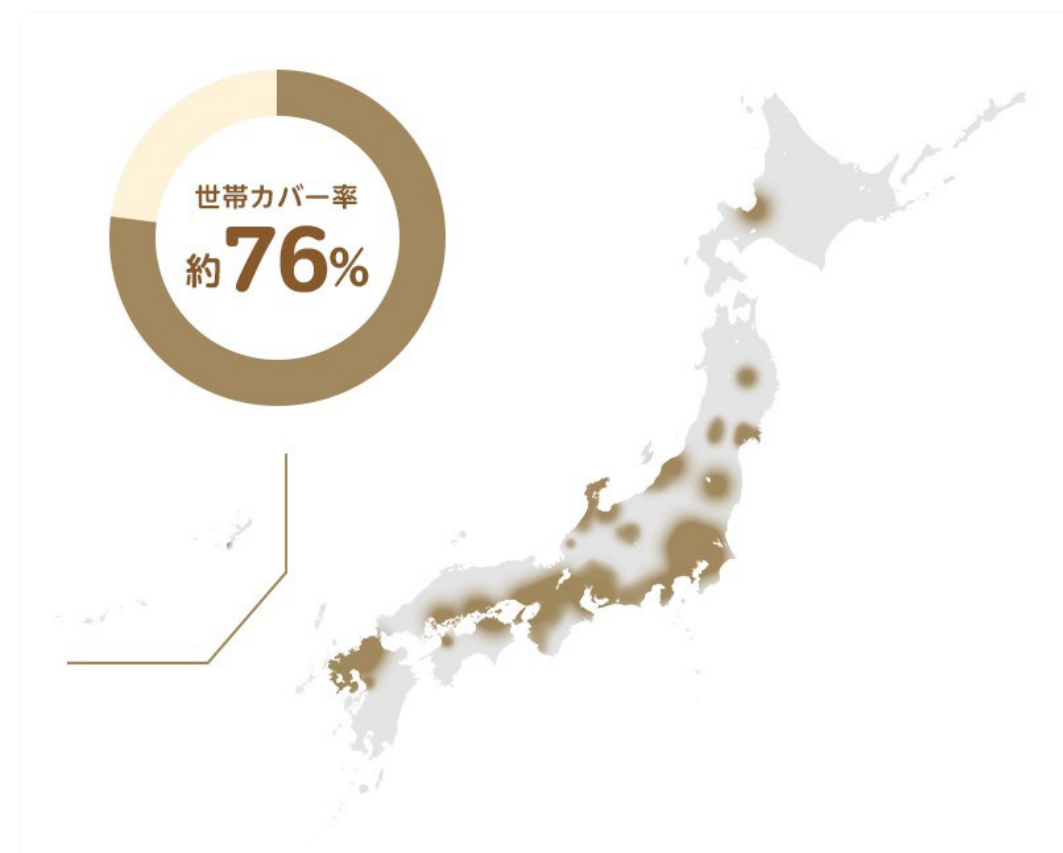
提供エリア:37都道府県

東
日
本

北海道、岩手県、山形県、宮城県、福島県、
東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、
茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県

西
日
本

愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、石川県、富山県、福井県、
大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、
岡山県、広島県、香川県、愛媛県、徳島県、
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、**沖縄県**



自社アセット、ノウハウを活用し企業の課題解決に貢献

CATV局向け 映像伝送サービス



- ・衛星通信と視聴鍵信号管理技術を使ってCATV局の課題を解決

<主な導入メリット>

- ・設備投資コスト削減
- ・お客様宅のSTB不要
- ・多チャンネル放送サービス継続

映像配信ニーズ向けの 多様な配信サービス (集信、加工、伝送、分析、 運用、監視)



スカパー東京メディアセンターを中心とした映像の集配信力を使って、映像配信事業者の課題を解決



各to C企業向け コールセンターサービス



有料放送の顧客対応で培ったノウハウを用いて、通販会社等のコールセンター業務を受託

取引先例)

製薬会社、精密機器メーカー、菓子メーカー、通販会社 等

コネクテッドTVへの対応

MEDIA

放送/配信

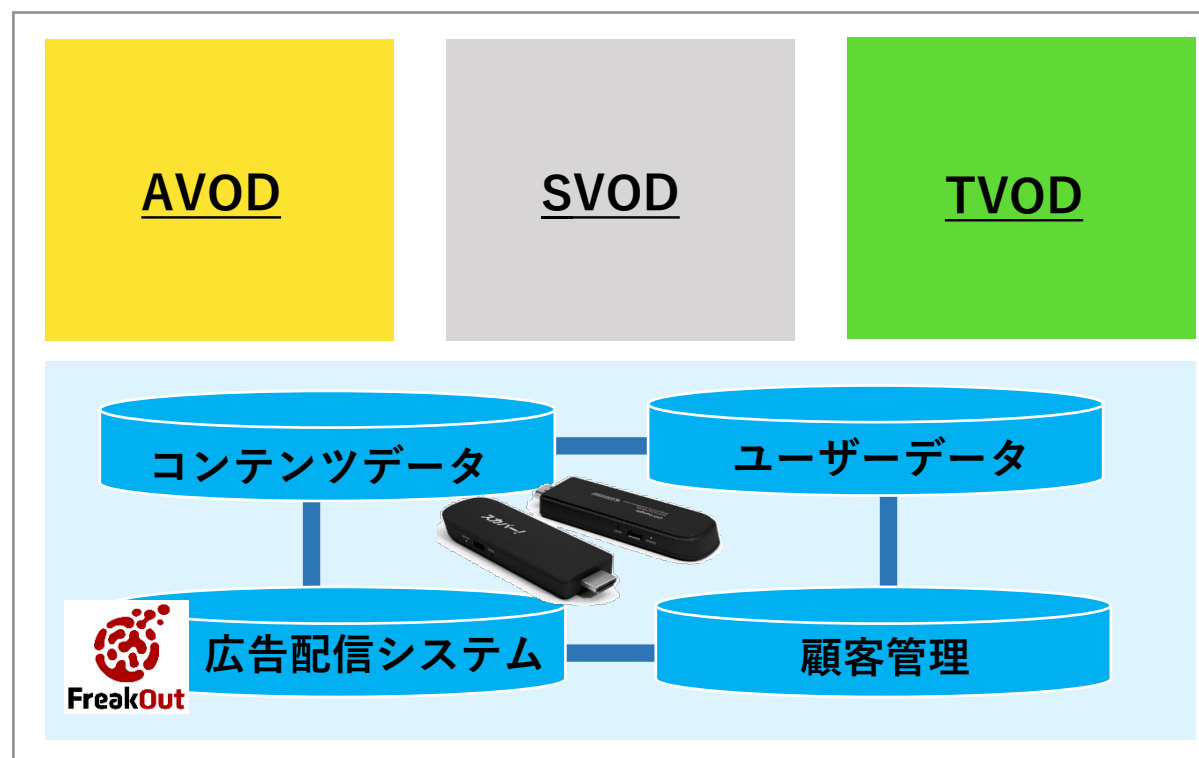


放送 + 配信のハイブリッドプラットフォームの実現を目指す

スカパー!



配信サービス





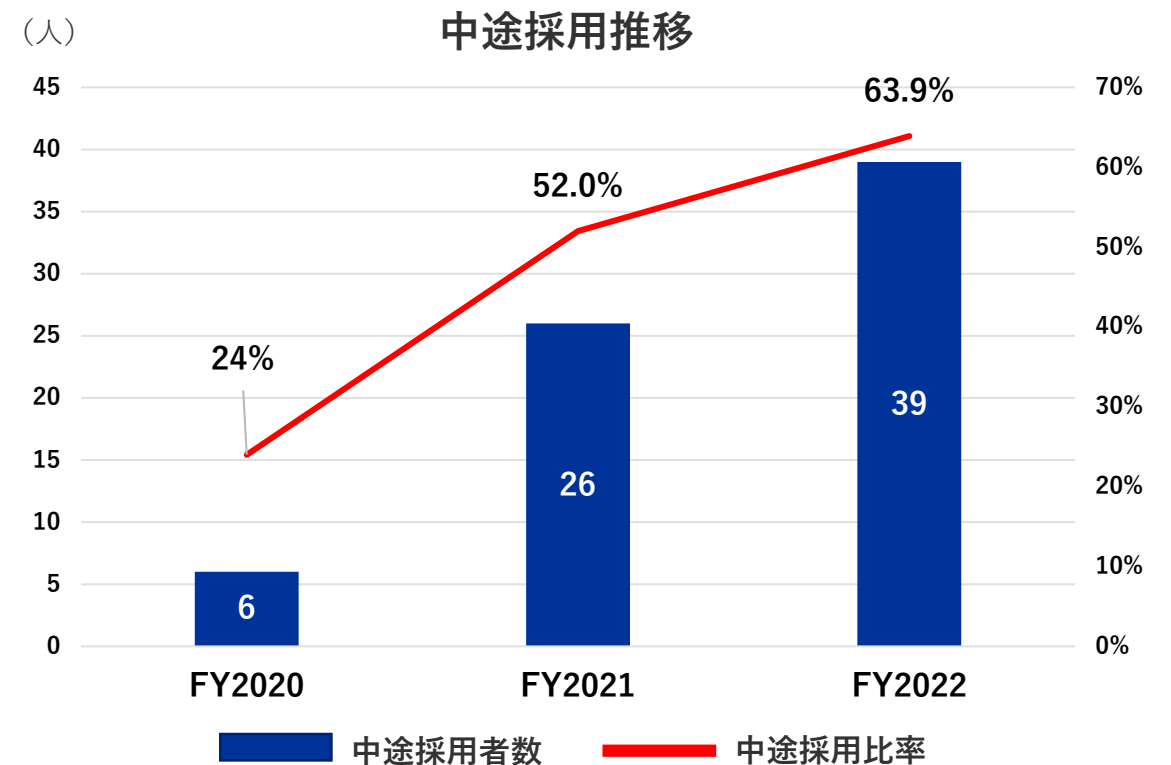
経営戦略の実現に向けて人財戦略「変革の原動力となる人と組織の活性化」を策定

■ 重要課題（マテリアリティ）の見直し

- ・ 「人的資本投資」と「エンゲージメント強化」を軸にマテリアリティを再定義

■ 変革を担う人材の育成・確保への取り組み*

- ・ 新人事制度をスタート
 - －ハイパフォーマーの早期抜擢等
- ・ 宇宙事業・メディア事業の成長に必要な専門人財の中途採用を強化
- ・ 自発的な研修プログラムを拡充
- ・ 初任給の引き上げと非管理職の賃上げを実施（賃上げ率平均＋5%）



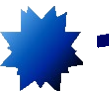
*全てスカパーJ S A T(株)での取り組み

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

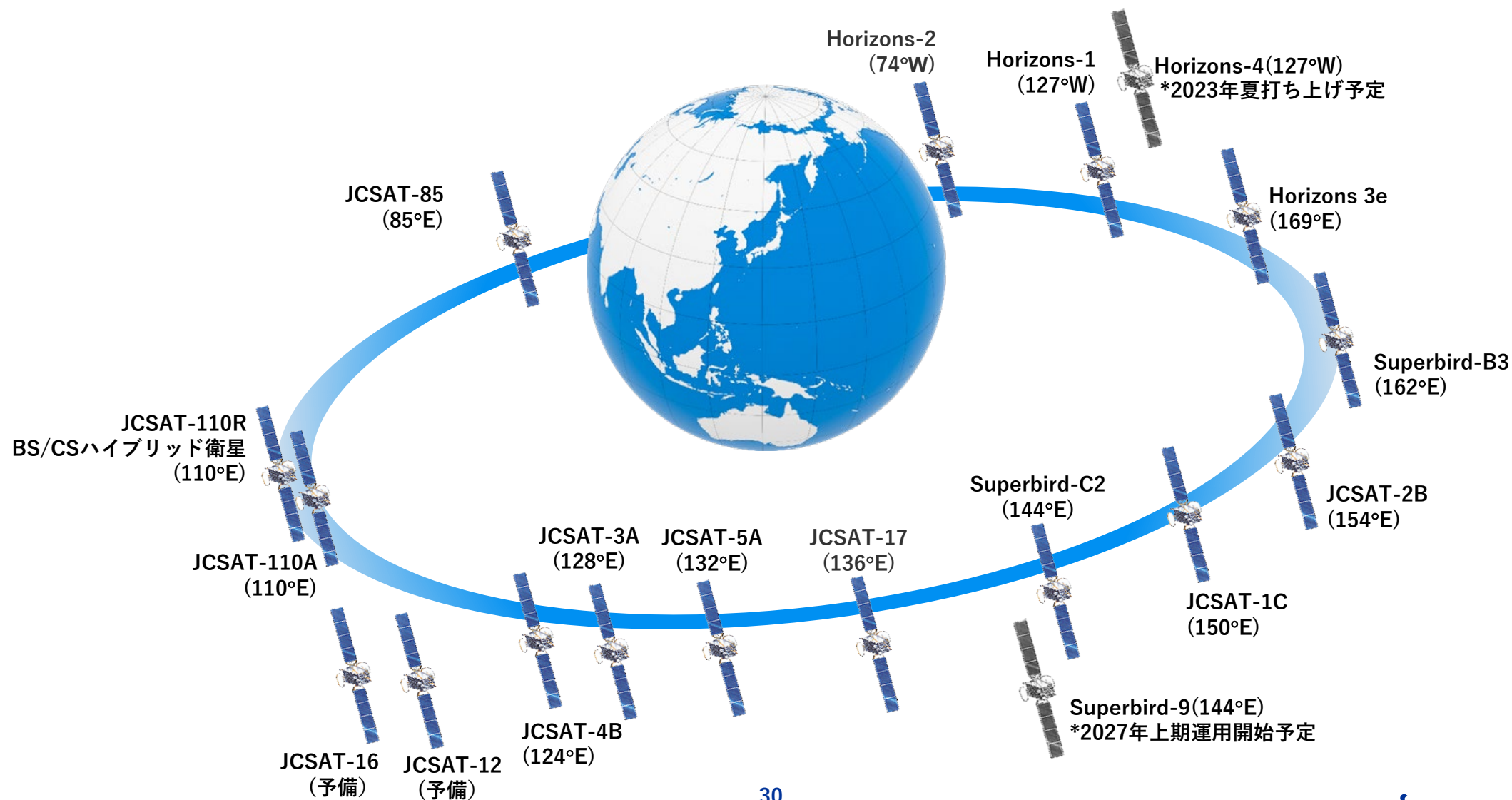
未知を、 価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT

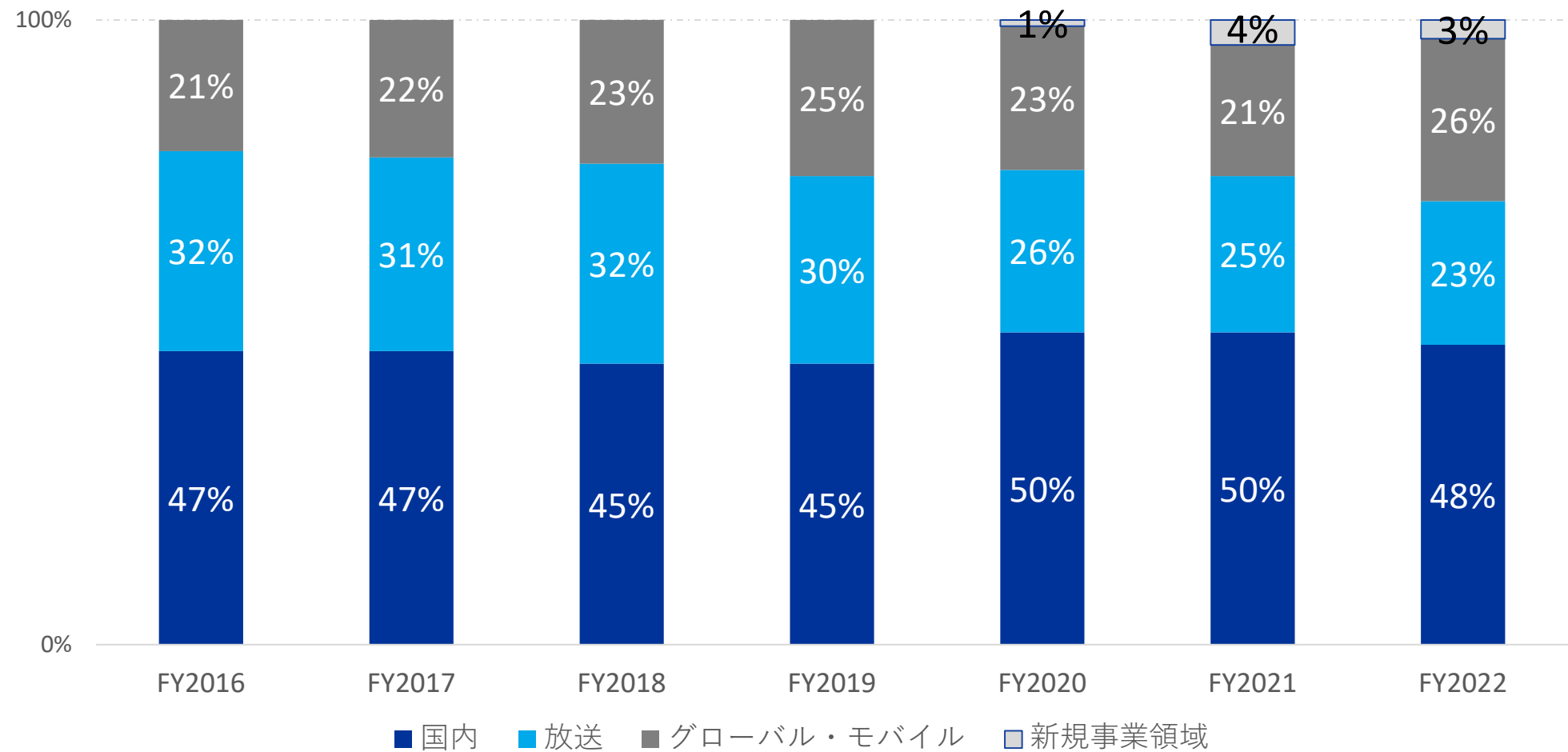
参考資料



北米上空からインド洋上空まで 計16機 の衛星を保有



宇宙事業 営業収益構成比



※2016年度、2018年度の防衛省向け通信衛星売却の影響を除く
※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用
※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内から新規事業領域に組み替えて再計算

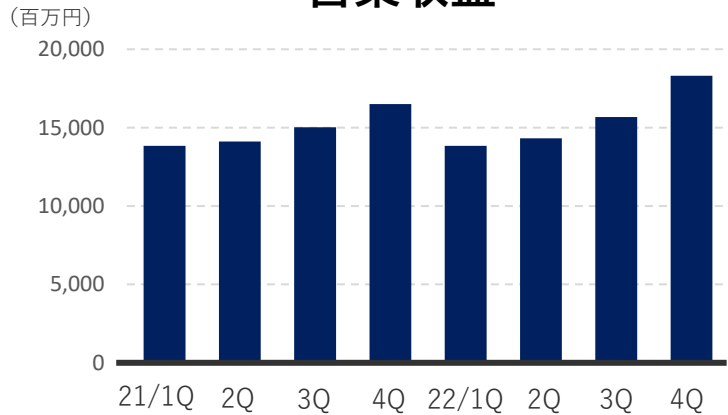
セグメント別四半期業績(2021/1Q - 2022/4Q)



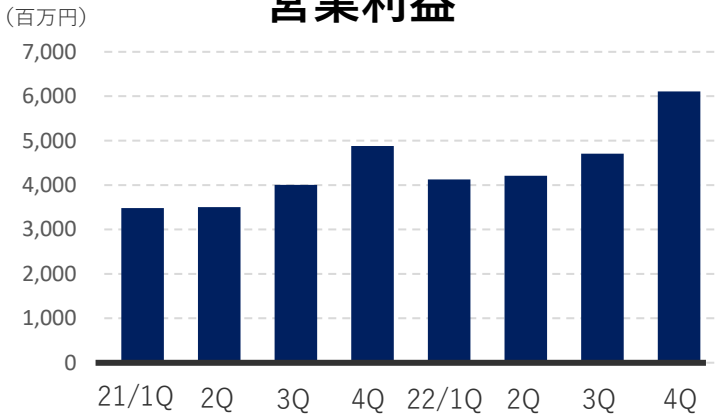
* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

宇宙事業

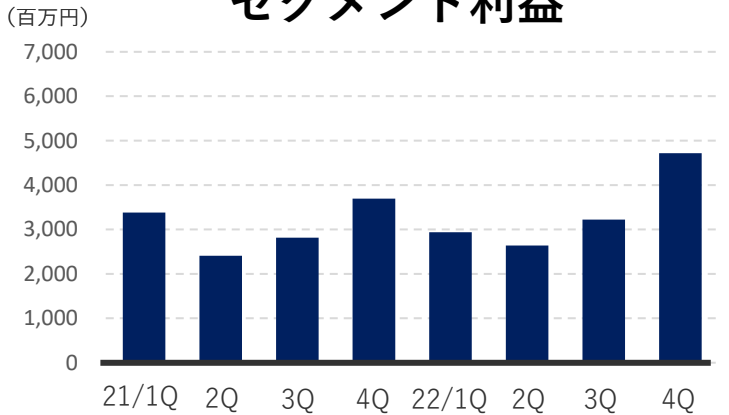
営業収益



営業利益

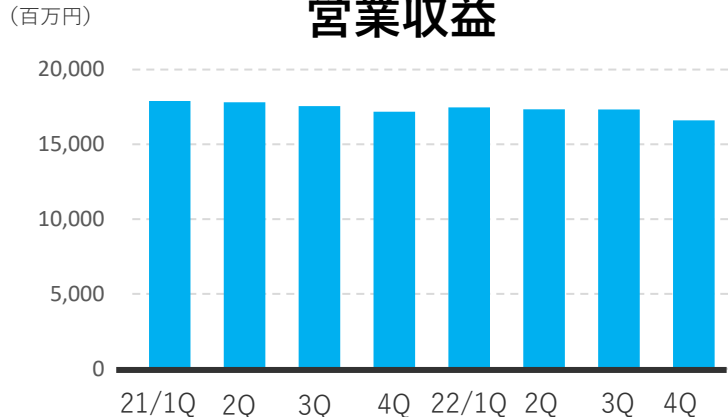


セグメント利益

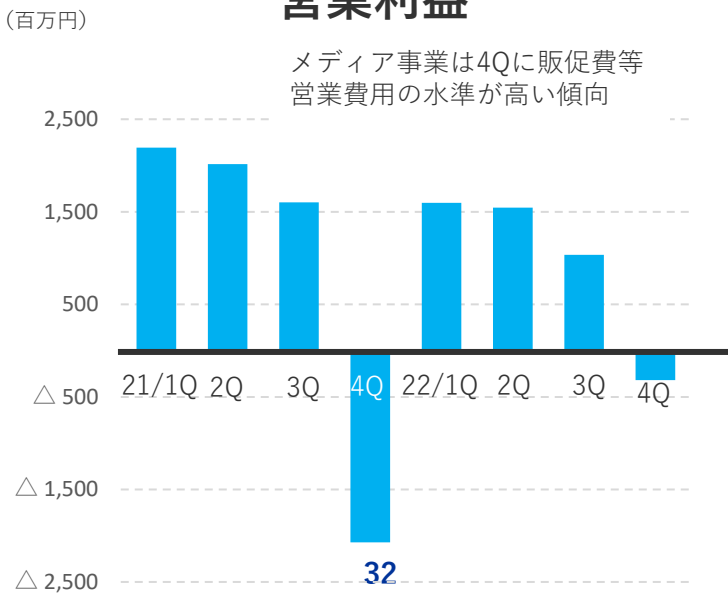


メディア事業

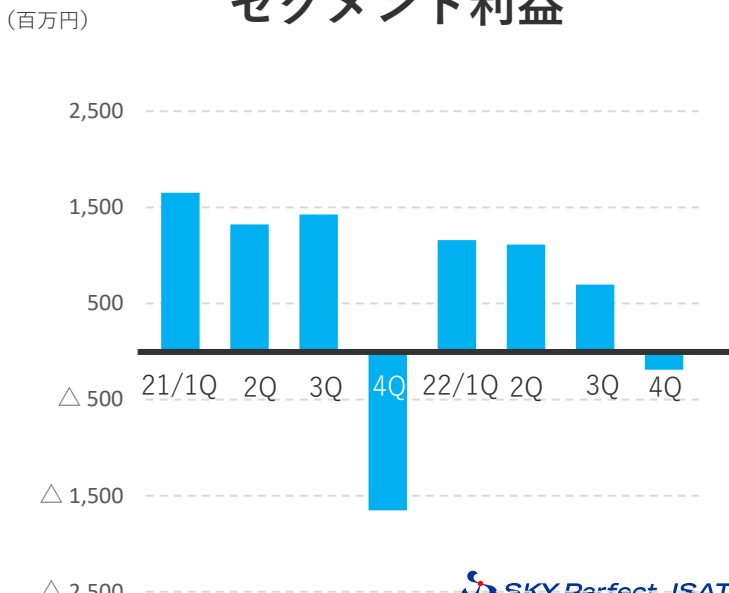
営業収益



営業利益



セグメント利益



セグメント別四半期業績(2021/1Q - 2022/4Q)



対前年同四半期比較

(百万円)

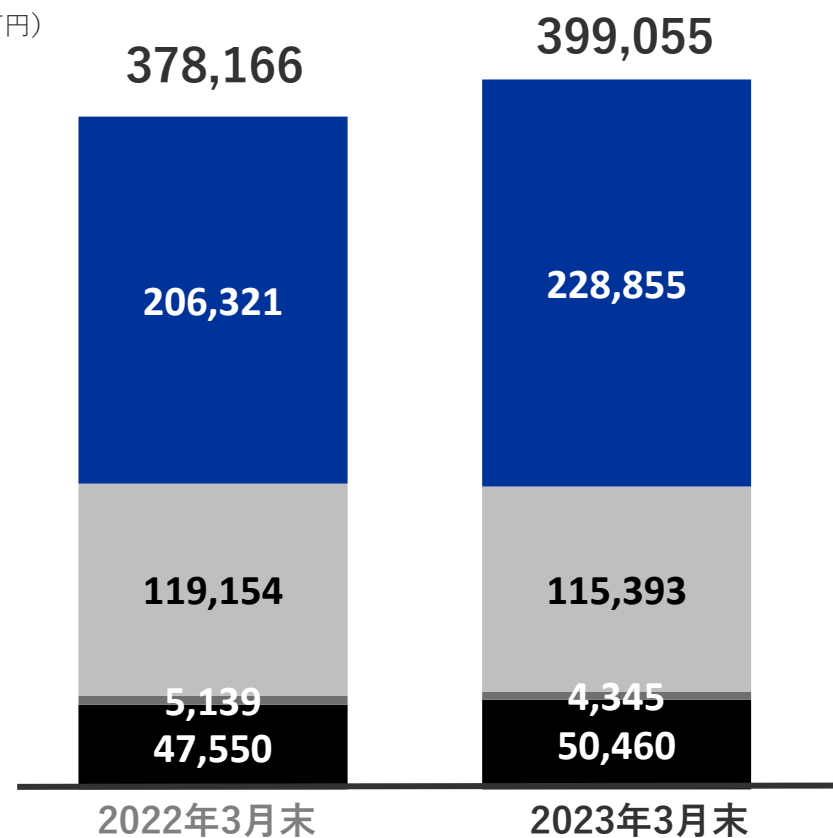
	2021年度					2022年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	29,078	29,311	30,046	31,196	119,632	28,806	29,190	30,597	32,545	121,139
宇宙事業	13,843	14,121	15,030	16,504	59,500	13,841	14,319	15,677	18,314	62,154
メディア事業	17,896	17,811	17,557	17,181	70,447	17,463	17,340	17,326	16,601	68,733
消去又は全社	△2,661	△2,621	△2,542	△2,489	△10,314	△2,499	△2,470	△2,406	△2,370	△9,747
営業利益	5,493	5,360	5,402	2,606	18,862	5,551	5,595	5,566	5,609	22,324
宇宙事業	3,480	3,503	4,004	4,878	15,867	4,128	4,208	4,708	6,106	19,151
メディア事業	2,193	2,016	1,602	△2,072	3,740	1,598	1,546	1,036	△318	3,863
消去又は全社	△181	△160	△204	△200	△745	△175	△158	△178	△177	△690
セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益)	4,929	3,604	4,119	1,926	14,579	4,033	3,669	3,683	4,423	15,810
宇宙事業	3,380	2,409	2,815	3,693	12,298	2,938	2,637	3,221	4,717	13,515
メディア事業	1,652	1,323	1,426	△1,653	2,749	1,159	1,113	696	△189	2,779
消去又は全社	△103	△128	△121	△113	△468	△64	△81	△234	△104	△484

連結貸借対照表



資 産

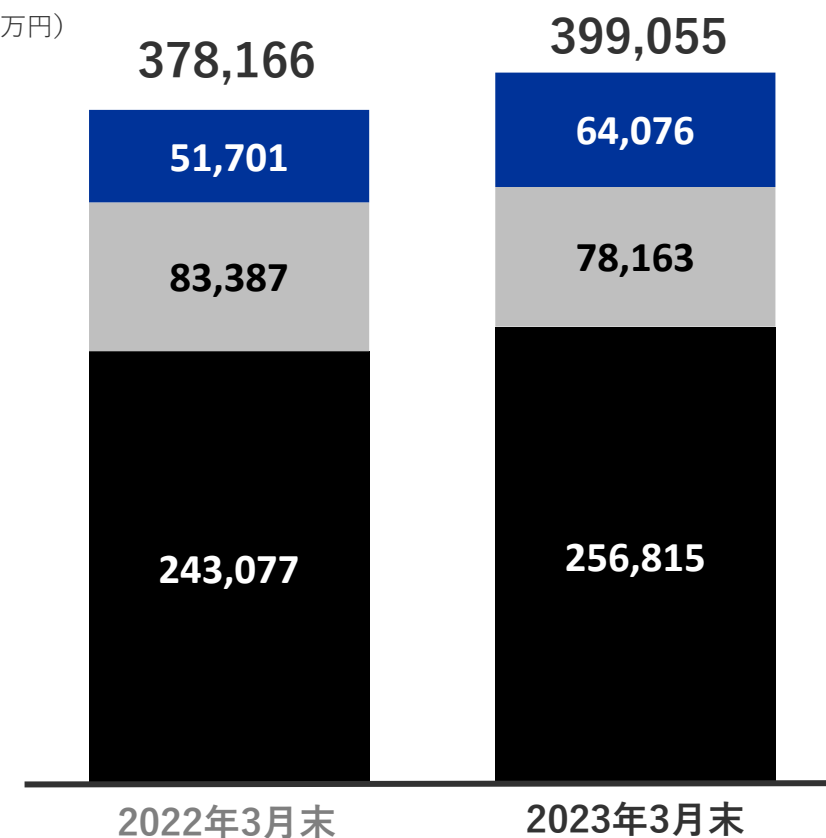
(百万円)



負債・純資産

自己資本比率： 64.0% ➡ 64.0%

(百万円)



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

投資その他資産

流動負債

固定負債

純資産

2023年度 減価償却費見込み



(億円)

	2022年度 実績	2023年度 見込	差異
減価償却費	212	203	△9
内訳： 宇宙事業	139	132	△7
メディア事業	70	68	△2
その他	3	3	0

2023年度 投資計画



(億円)

	2022年度 実績	2023年度 見込	差異	備考
① 設備投資額	168	305	137	
内訳: 宇宙事業	147	253	106	衛星の調達等
メディア事業	19	50	31	放送設備等
その他	1	2	1	
② 事業投資	35	35	0	
① + ② 投資合計	203	340	137	

連結キャッシュ・フロー



(百万円)

	2021年度	2022年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,507	57,630
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,737	△16,870
フリー・キャッシュフロー (*1)	28,770	40,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,405	△19,422
現金及び現金同等物の期末残高(a)	85,914	107,908
有利子負債期末残高 (*2) (b)	85,351	73,547
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△562	△34,361

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2. 借入金＋無担保社債



(百万円)

		SJC	SPCC	SPET	SPBC	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	有料多チャンネル放送等の カスタマーセンター運営	衛星基幹放送業務、 衛星一般放送業務等	コンテンツ企画・制作、 技術支援及び番組供給 事業等	北米・ロシア・アジア太平洋での衛星 回線販売事業	移動体衛星通信サービス事業
保有割合 (%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	53.3
営業収益	FY2021/4Q	112,662	5,854	15,665	2,361	4,344	3,456
	FY2022/4Q	114,452	5,880	14,005	1,269	5,416	4,948
営業利益	FY2021/4Q	17,944	385	418	309	956	558
	FY2022/4Q	19,817	423	299	257	1,568	921
経常利益	FY2021/4Q	22,569	387	424	309	1,102	603
	FY2022/4Q	21,096	424	365	260	1,731	953

SJC：スカパーJSAT株式会社

SPCC：株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPET：株式会社スカパー・エンターテインメント

SPBC：株式会社スカパー・ブロードキャスティング

JII：JSAT International Inc.

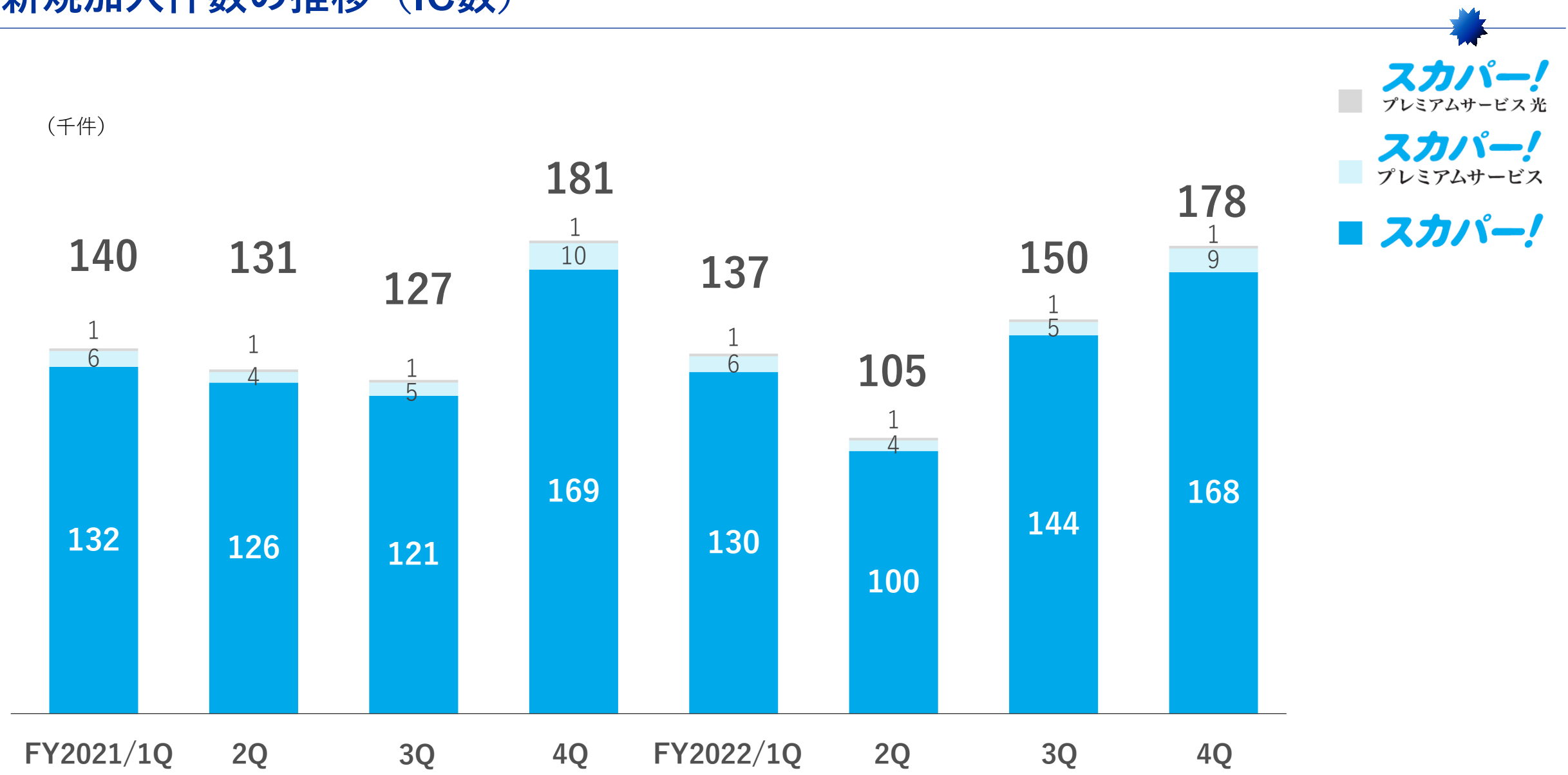
JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

2023年度 加入目標（メディア事業）



	2021年度	2022年度	2023年度 加入目標
新規（IC数：万件）	57.9	57.0	56.4
純増数（IC数：万件）	△9.4	△13.3	△13.3
（スカパー！）	（△1.2）	（△6.3）	（△5.4）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△7.8）	（△6.6）	（△7.5）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.4）	（△0.4）	（△0.4）
累計加入件数（IC数：万件）	300.8	287.5	274.2
累計契約者数（契約者数：万件）	239.5	226.1	212.6
光再送信サービス接続世帯数（万件）	254.2	264.0	273.5
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,326	3,329	—
スカパー！プレミアムサービス	3,557	3,517	
スカパー！プレミアムサービス光	5,109	5,054	

新規加入件数の推移（IC数）



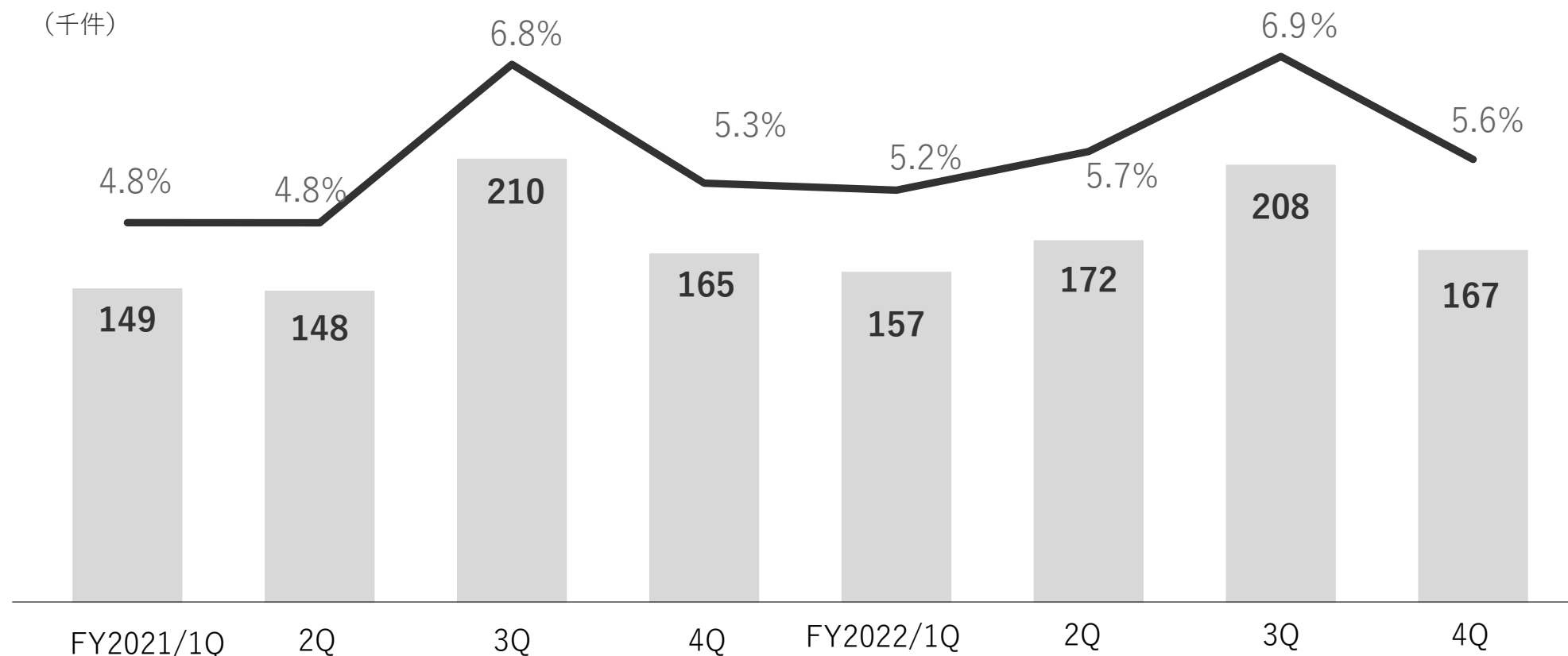
解約率の推移（IC数）



— 解約率 *（四半期毎）

■ 解約件数（千件）

注：すべてスカパー！合計



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

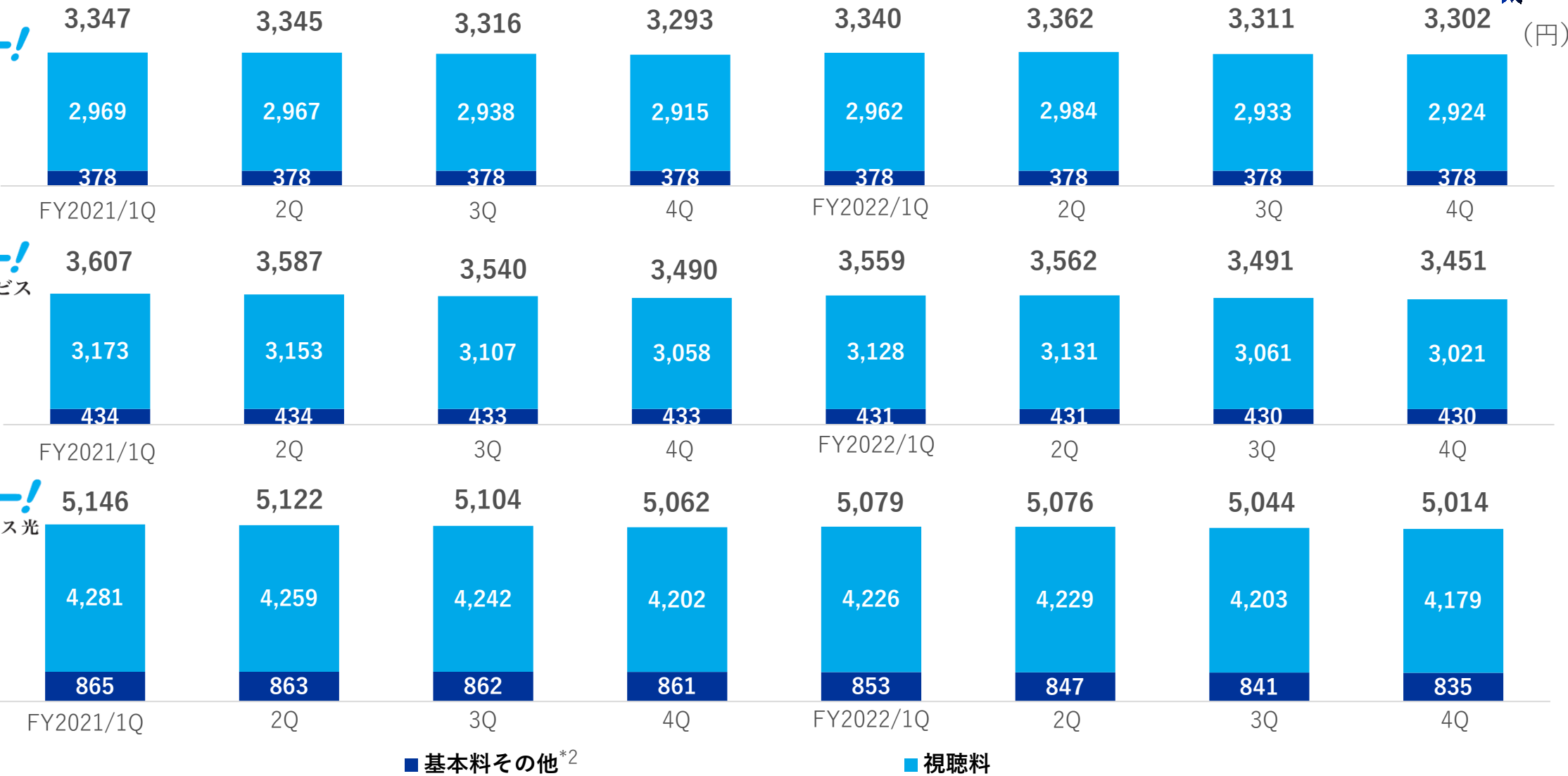
契約者支払単価^{*1}



スカパー!

スカパー!
プレミアムサービス

スカパー!
プレミアムサービス光

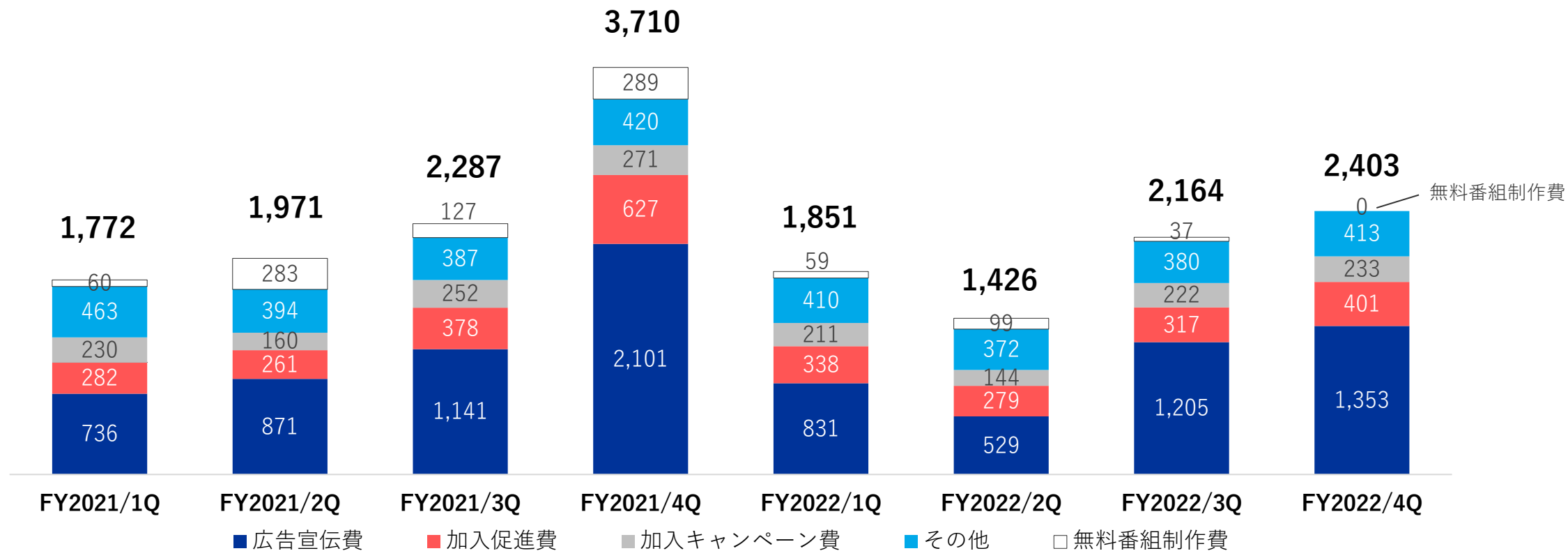


^{*1} 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。
契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料、スカパー！プレミアムサービス、およびスカパー！プレミアムサービス光では、21年度から番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

^{*2} 基本料及びセットトップボックスレンタル料。

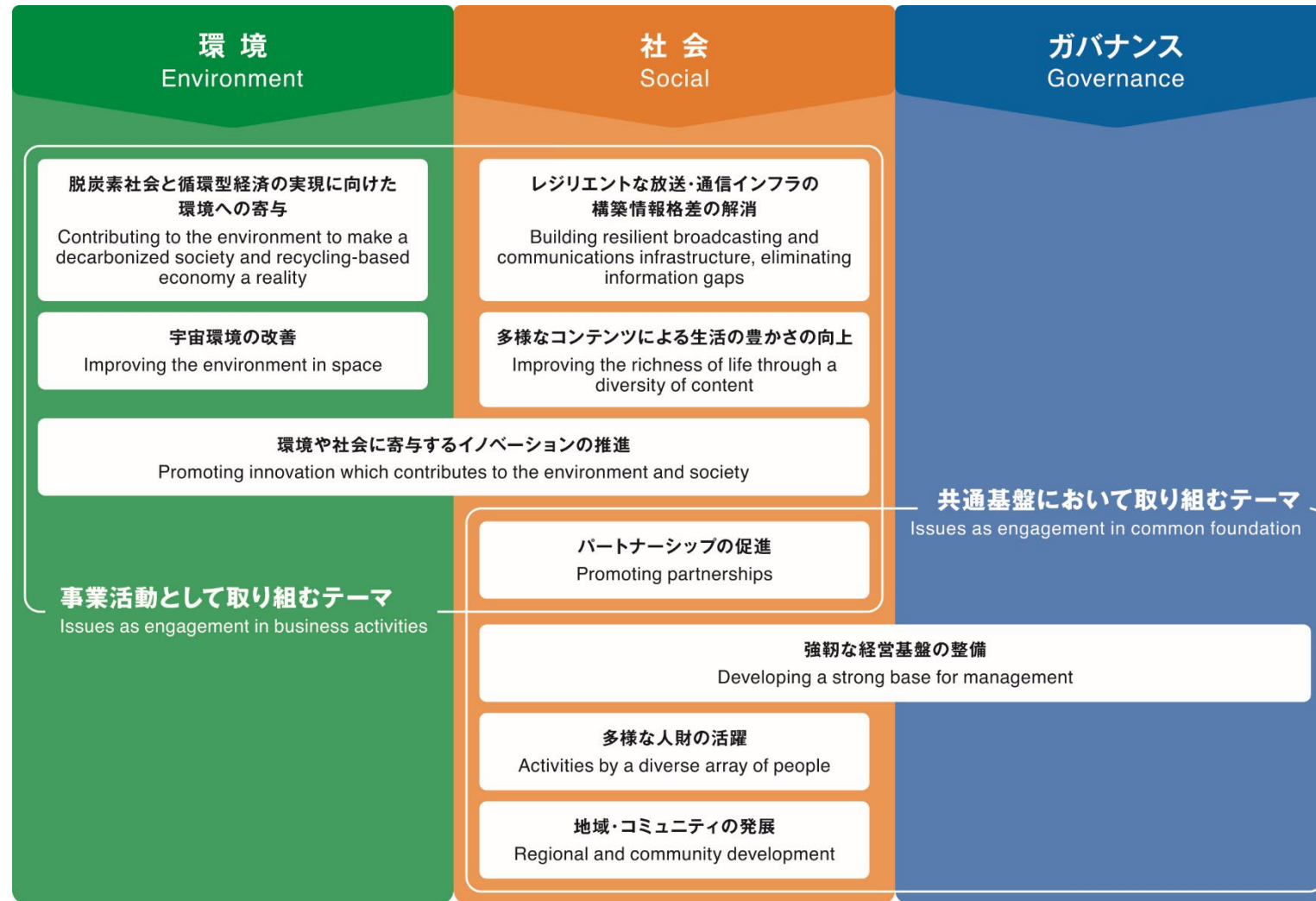
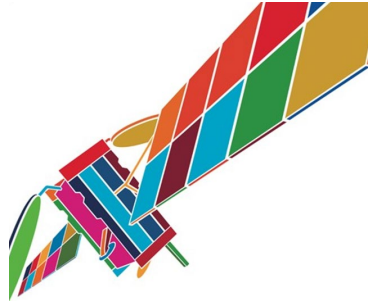
顧客獲得費用総額（SAC）

（百万円）



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等
- 無料番組制作費：BSスカパー！等の番組制作費用

9つの重要課題（マテリアリティ）テーマ

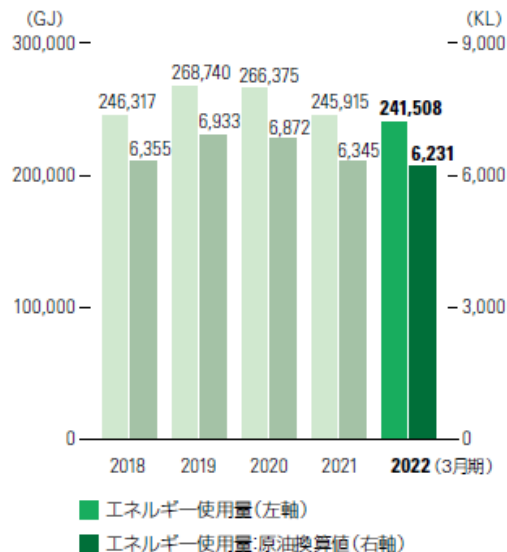


当社グループのサステナビリティ詳細は、こちらをご覧ください。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>

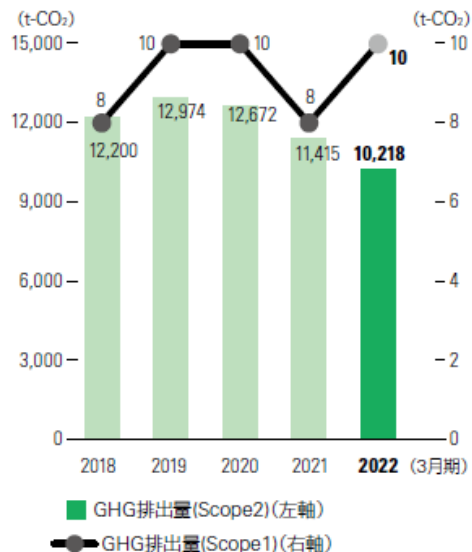




エネルギー使用量



GHG排出量



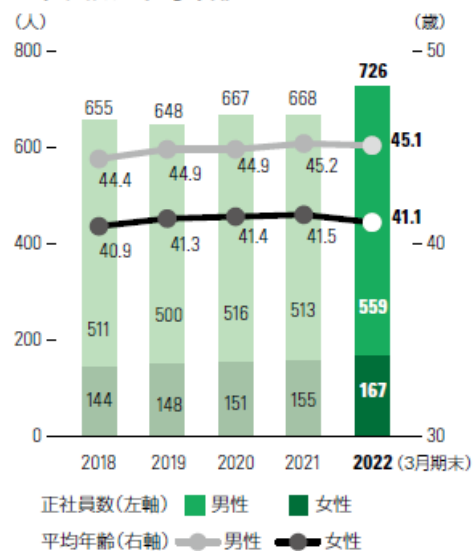
廃棄物総排出量

2022年3月期(2021/4/1～2022/3/31) (t)	
産業廃棄物等総排出量計	95.917
一般廃棄物等総排出量計	54.594
総排出量合計	150.511

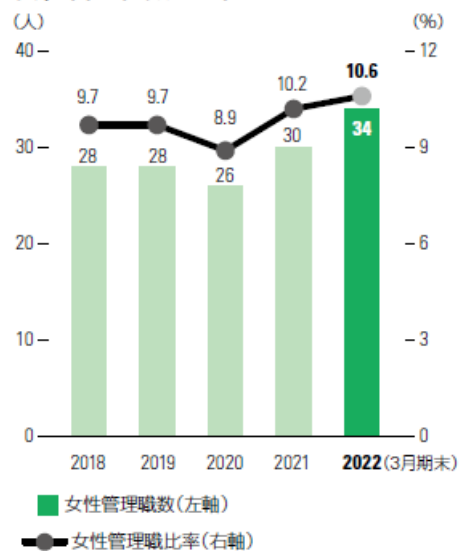
Scope1: 温室効果ガスの排出源からの直接的な大気中への温室効果ガスの排出量
 Scope2: 他者から供給を受けた電気、熱の利用により発生した電気、熱の生成段階でのCO₂排出量
 (サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(環境省・経済産業省))
 GJ(ギガジュール:エネルギー量の単位)、t-CO₂(重量トン:エネルギー使用量をCO₂基準で換算して重量表示)

2023(3月期)の実績は2023年6月末に
 当社グループサイトにて公開予定です。
<https://www.skyperfectjsat.space/sustainability/>

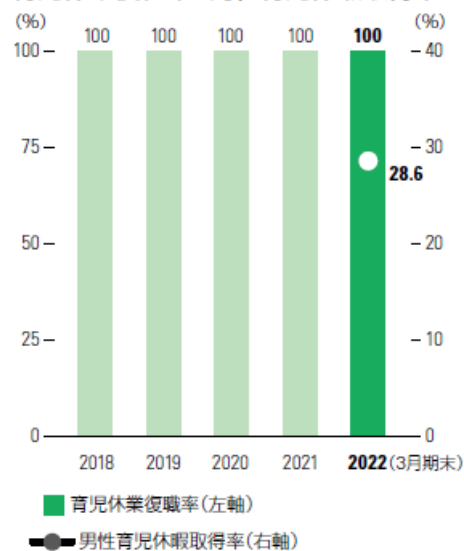
正社員数・平均年齢



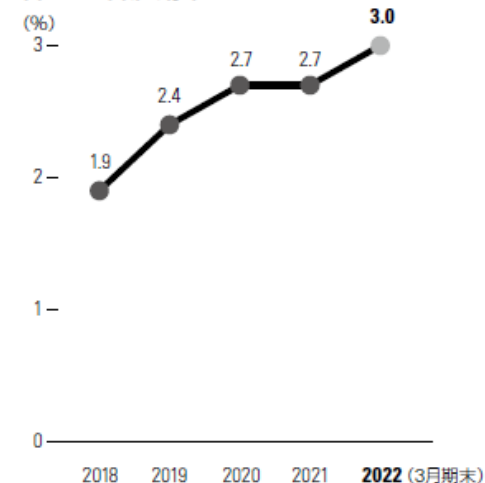
女性管理職数・比率



育児休業復職率・男性育児休暇取得率



障がい者雇用率



Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。



本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス

広報・IR部

TEL : 03-5571-1515

FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

